

## 会員館の最近の話題から

## 愛教大図書館『種』プロジェクト

愛知教育大学附属図書館 沓名正樹

## 1 企画の内容

愛知教育大学附属図書館では、「環境研究と環境教育の融合によるエコキャンパスづくり」事業の一環として、図書館『種』プロジェクトを平成25年5月よりスタートさせた。

『種』プロジェクトとは、米国図書館での事例を参考に、図書館での本の「貸出・返却」という役割になぞらえて、図書館利用者に種の「貸出」を行い、大学内もしくは自宅で栽培してもらい、収穫後の種を図書館に「返却」してもらおう利用者参加型の取組・企画である。

実施後は本学学生・教職員を始め、地域住民からの問い合わせや、地元の新聞記事に取り上げられるなど、学内外からも多くの反響があった。

## 2 目的・経緯

このプロジェクトは、教員になる学生にとって、植物栽培の指導は必須であり、自ら栽培を体験することが将来的にもよい経験となると考え、また、自然や植物に興味を持ってもらい、エコロジーの精神や環境教育へと広げていくことを目的とした。

その他にも、大学図書館として関連図書の有効活用や利用者増加にも繋げ、図書館の持つ可能性の幅を広げ、図書館の価値を高めていければと考え、企画立案を行った。

## 3 実施状況

プロジェクトでは、ヒマワリ、アサガオ、パンジー、マリーゴールド、コスモス、サルビア、フウセンカズラ、ハーブなど21種類の種を約200袋用意し、先着順で希望者に1人3袋までとして配布した。貸出・返却の管理は貸出簿を利用し、学生、教職員、学外者など69名が種を借りていき、うち返却期限の1月までに17名から種の返却があった。(数名の参加者から枯らしてしまいました、との報告もあり)

返却者の中には、「保育園内で園児と楽しくたくさんヒマワリを咲かせることができました」という保育園の関係者や、学生からは「最初はなかなか芽がで

ず心配しましたが、きれいな花を咲かせてくれて、うれしかったです」という感想を聞くこともできた。



種、貸出簿、関連図書を集めた特設コーナーを設置

またこのプロジェクトでは、本学名誉教授による『簡単にできる花壇づくり』や研究員による『放射熱を抑えて快適な空間へ〜グリーンカーテンとフラクタル日除け〜』という題目で、環境教育の講習会を行った。どちらも多くの参加者があり、有意義なものとなった。

## 4 まとめにかえて

このプロジェクトを図書館で実施できて非常によかったと考えている。学生からのアンケートや学長、教員からもこのプロジェクトを評価する声を頂くことができた。植物や環境に対する興味を持ってもらえる事ももちろんだが、図書館の取組に対して多くの方に興味を持ってもらえた事が純粋に嬉しい。

これからも、図書館を身近に感じてもらい、より多くの利用者に満足してもらえる図書館になるよう、新しく楽しい企画やサービスを考えて、図書館を盛りあげていきたいと考えている。